

県央

三条総局
〒955-0092
三条市須頃2の89
0256(33)0408
ファクス (33)3347

三条市・保内小 3年

石川 智也



大きくなったら

ほくは、大きくなったら、うえ木やさんになりたいです。ほくは、うえ木でゆう名な、保内にすんでいます。ほくの家もうえ木やで、「五葉松」のあるオーブンガーデンを開いています。お父さんは、朝早くからお客さまの所へ出かけて行き、お庭をつくったり、うえ木の世話をしたりしています。ほくもうえ木を大きく育てて、お客さまによくこんでもらえるようなお庭を、たくさんつくっていきたいです。

長岡市・浦瀬小 2年

佐野 愛実



わたしのしょうらいのゆめは、お花やさんになることです。わたしは、お花やさんにあるきれいな

手作りロボット決勝大会

巧みに操作腕前競う

早川君(6年)個人戦でV

子供たちにもものづくりの楽しさを知ってもらおうと、燕三条青年会議所(JCC)の有志者でつくるNPO団体「ロボコンジャパン」が主催。同JCCが2006年から県央地区で実施していた「ふるさとロボコンチャレンジャカップ」を発展させ、全県を対象にした「前方に籠などを付けた車型ロボットを作るための教室」を6月から開催。燕三条、新潟、長岡の3会場で8、9月に開かれた予選会には、小学生3、6年生約120人が参加した。決勝大会は個人戦に67人、3人一組の団体戦に11チームが出場した。



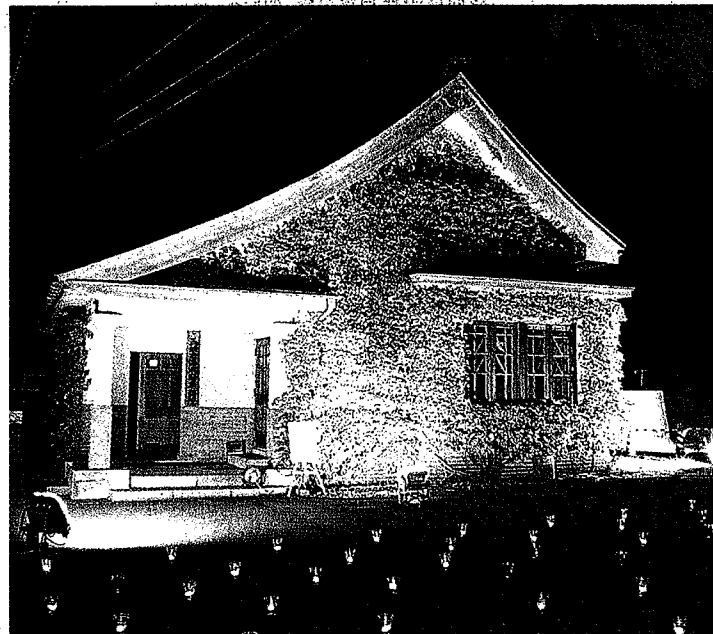
ロボット操作の技術を競い合う児童たち。8日、三条市

役割分担し、息の合ったチームプレーを見た。西小6年、早川昂希君(11)は「練習してきた作戦がうまくいった。とてもうれしい」と喜んだ。早川君は個人戦でも優勝を挙げた。主権団体は「子供たちにもものづくりへの興味を持ってもらえた。来年から予選会場を増やし活動を広げたい」と話した。

揺らめく炭 幻想的

国登録有形文化財に登録されることが決まった三条市中新の大崎浄水場で8日、市主催の記念イベントが行われた。浄水場の施設が一般開放され、参加者が見学ツアーなどさまざまなイベントを楽しんだ。見学ツアーには、定員の2倍を上回る約70人が参加。浄水場は1933年に建設され、今も現役で使用されている全国的にも貴重な施設。施設を調査した長岡造形大の平山育男教授がガイドを務め、参加者は西洋建築様式の「送水ポンプ室」や切り妻造りの赤い屋根が特徴的な「事務室棟」などを巡った。

三条・大崎浄水場を一般開放



ライトアップされた大崎浄水場の事務室棟 = 8日、三条市

夕方からは場内の各々中、歴史を感じ施設が初めてライトアップされた。重厚な施設が浮かびツブされ、高台にある上がり、幻想的な雰囲気配水池への通路や階段、気にも包まれた。中にはキャンドルも並べ、この他、利き水大会も大いに盛り上がった。暗闇に炎が揺らめく浄水場の水を使ったお茶会などで、参加者が水に親しんだ。親子で訪れた同市西大崎2の団体職員男性(35)は「浄水場は桜の名所もあり、市民には身近な施設。これから大切にしたいですね」と話した。

美味 隠し味は重労働

泥に足取られ大苦戦

信さん(56)ら農家20人が「先生」だ。水面からは高さ1〜2メートルの葉が大きな葉を付けてうっそうと茂る。地下葉のレンコンはその下に眠る。ツアーがあった約2時間の畑では、2、3日払ってレンコンを掘りやすくするアイテムだ。ゴムの間に、泥の中に潜む茎に何度もつまづく。慎重に一步、また一步。ようやく、手を振る農家の一人にたどり着くと、手元にあったのはホー。水の勢いで泥を取りお楽しみなんです」との説明。4〜5月に種レンコンを植え、7月ごろに収穫した。引き上げると数珠のように連なったレンコンが顔を出した。「出来は地上の葉や花を見ても予想できない。大きな部分が一般的には人気だけど、小さい部分も柔らかくておいしいよ」と教えてくれた。小さい部分はサラッとした食感で、大きい部分は太く